

学童保育の「第三者評価」

分からぬ3.5

実施して
いる

※三菱UFJリサーチ&コンサルティングの運営事業者調査より

需要高まる学童保育

進まぬ第二著評価

共働き家庭の小学生らが通う放課後児童クラブ（学童保育）は、保育園と同様に近年需要が高まり、昨年5月時点では2万5328カ所と10年間で4割以上増えた。しかし保育園と違って、外部の目でチェックする「第三者評価」についての国は規定がない。サービスの質を守る仕組みが求められている。

【大和田香織、写真も】

千葉県松戸市の社会福祉法人さわらび福祉会（和名ヶ谷放課後児童クラブ）が運営する「和名ヶ谷放課後児童クラブ」は2016年、他に運営する保育所などと同じように県の認証を受けた評価機関に依頼して、第三者評価を初めて受けた。結果は法人のウェブサイトで公表している。

（評価を受けた理由）を和名ヶ谷放課後児童クラブが運営される「第三著評価」を求められる」と指摘された一方、利用する子

ども全員の個別支援計画書は、第三者評価の枠組みを利用して専用の評価指針を作成した。結果は法人のウェブサイトで公表している。

（評価を受けた理由）を和名ヶ谷放課後児童クラブが運営される「第三著評価」を求められる」と指摘された一方、利用する子

道府県に実施を求めていなかった。それを受けているのは12.1%。自己評価をしている事業者は36・2%などとど

養護施設は3年に一度の評価が義務。だが、学童保育の指針ではなく、設備運営基準で第三者ではない自己評価が努力義務とされているだけだ。

質向上へ 国は義務化を

千葉県松戸市（東京都港区）の三井UFJリサーチ&コンサルティング（東京都港区）が3月にまとめた学童保育の運営事業者へのアンケート結果によると、回答した全国の18893事業者のうち、第三者評価を進める一環として、こ

れまでの職員配置の基準を緩めて1人体制も容認する改正法が、今国会で成立した。そのため賃料下を招かない担保を求

めの保護者の声は強い。日本財團は昨年度、子どもの貧困対策事業の中でも、モデル事業として2力所の学童保育で第三者評価を実施した。その際に引き出せられたのが運び、運営形態は多様で地域差がある。子どもが長時間過ごす場所である学童保育の職員配置などの扱いを緩和したり組むべきだ。まずチェックリストを作るなどして自己評価から始めるとい



和名ヶ谷放課後児童クラブで子どもたちの遊びに加わる田中さん（左）＝千葉県松戸市で

学童保育の評価指標の例（「支援員と子ども」の項目）

※「新・保育環境評価スケール④」（法律文化社）より

※箇条書きされた指標に点数がふられ、当てはまるかどうかで「はい」「いいえ」にチェックを入れる。「よい」「とてもよい」の指標で「はい」が多いほど高得点になる。

<不適切>

相互関係が不愉快である（例：脅かすような声、いら立っている）

<最低限>

支援員は子どもに対して応答的であり、あたたかな雰囲気がある。

<よい>

支援員は子どもを尊重している（例：注意深く耳を傾け、平等に扱い、おとしめない）

<とてもよい>

支援員は子どもの自律的な行動を支持する（例：活動を選んだり、始めた時に子どもの主体性を重んじる）

（支援員と子ども）のふさんは、「利用者アンケートでは、子どもへの声かけで職員がいいと思つても保護者の受け止め方が違う場合もあると分かった。結果を職員全員で話し合い確認したのもよかつた」と振り返る。福沢サービスの質の確

のため最も大切なのは何か、考える根拠になる」と話す。職員には「よりよい運営のため」と目的を丁寧に説明したという。

児童クラブ主任の田中伸泰理事長は「子ども

のための第三者評価は、運営のため」と目的を丁寧に説明したという。

（評価を受けた理由）を和名ヶ谷放課後児童クラブが運営される「第三著評価」を求められる」と指摘された一方、利用する子

ども全員の個別支援計画書は、第三者評価の枠組みを利用して専用の評価指針を作成した。結果は法人のウェブサイトで公表している。

（評価を受けた理由）を和名ヶ谷放課後児童クラブが運営される「第三著評価」を求められる」と指摘された一方、利用する子

ども全員の個別支援計画書は、第三者評価の枠組みを利用して専用の評価指針を作成した。結果は法人のウェブサイトで公表している。

（評価を受けた理由）を和名ヶ谷放課後児童クラブが運営される「第三著評価」を求められる」と指摘された一方、利用する子

ども全員の個別支援計画書は、第三者評価の枠組みを利用して専用の評価指針を作成した。結果は法人のウェブサイトで公表している。

（評価を受けた理由）を和名ヶ谷放課後児童クラブが運営される「第三著評価」を求められる」と指摘された一方、利用する子

ども全員の個別支援計画書は、第三者評価の枠組みを利用して専用の評価指針を作成した。結果は法人のウェブサイトで公表している。

（評価を受けた理由）を和名ヶ谷放課後児童クラブが運営される「第三著評価」を求められる」と指摘された一方、利用する子